

## 1 実証実験の実施概要

### 【第1期】

- 実施期間：令和4年10月1日（土）～10月31日（月）
- 利用者数：延べ3,658名（31日間）
- 実施内容：グリーンスローモビリティ（青ルート、赤ルート）及びうつぶきループバスの定時定路線運行

#### 〔グリスロ青ルート（定時定路線）〕

- 運行日：毎日
- 運行ルート：3.6km/周
- 運行頻度：10便/日（10時00分～15時51分）

#### 〔グリスロ赤ルート（定時定路線）〕

- 運行日：毎日
- 運行ルート：3.0km/周
- 運行頻度：10便/日（10時15分～16時03分）

#### 〔うつぶきループバス（定時定路線）〕

- 運行日：毎日
- 運行ルート：7.8km/周
- 運行頻度：16便/日（10時00分～16時15分）

### ▼1期の様子



### 【第2期】

- 実施時期：令和4年11月5日（土）～11月30日（水）
- 利用者数：延べ632名（23日間）
- 実施内容：グリーンスローモビリティ2台を使用し、曜日別のルートを設定した実証実験

#### 〔成徳・明倫地区お試しお出かけツアー（予約制）〕

- ・運行日：月
- ・運行ルート：成徳地区、明倫地区それぞれで設定
  - ①成徳地区 約2.9km
  - ②明倫地区 約4.2km
- ・運行頻度：2便/日（10時00分～15時30分）

#### 〔観光モデルコース（予約制観光ガイド付き）〕

- ・運行日：火、水、木
- ・運行ルート：3コースのいずれかを予約
  - ①歴史的建造物をめぐるコース 約5.0km
  - ②倉吉の歴史ヒストリアコース 約2.4km
  - ③福の神にあえるコース 約2.8km
- ・運行頻度：2便/日（10時00分～15時30分）

#### 〔白壁ぐるっと号（定時定路線）〕

- ・運行日：土、日、祝
- ・運行ルート：1.6km/周
- ・運行頻度：16便/日（10時00分～15時42分）

### ▼2期の様子

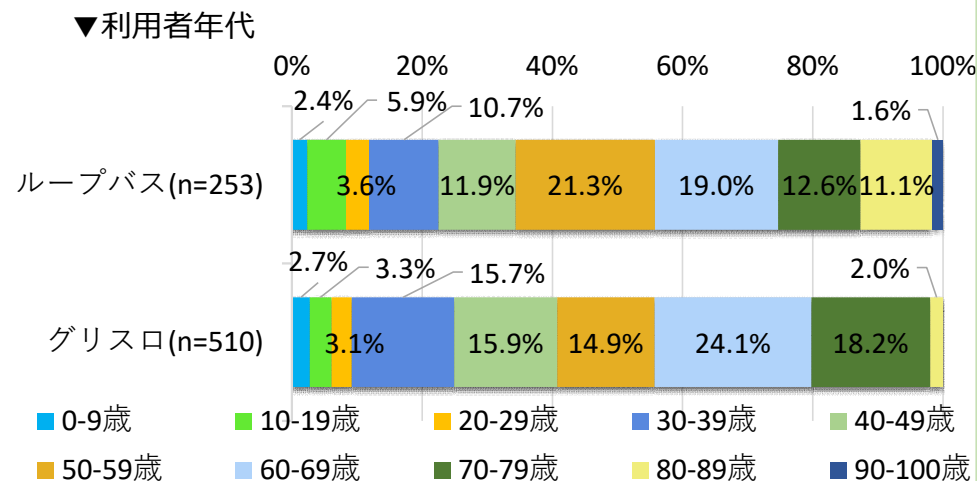
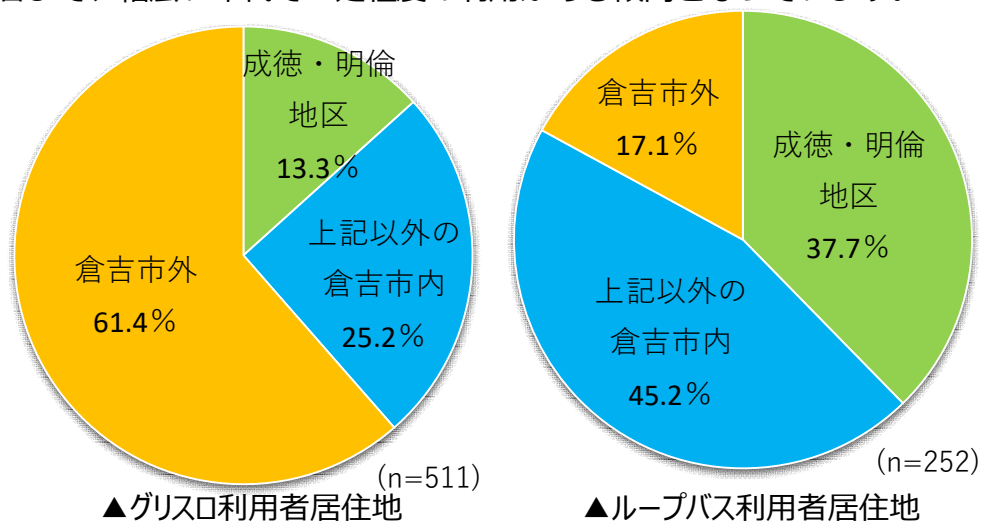


## 2 第1期の結果概要

### < 1期 > 居住地別・年代別の利用者数

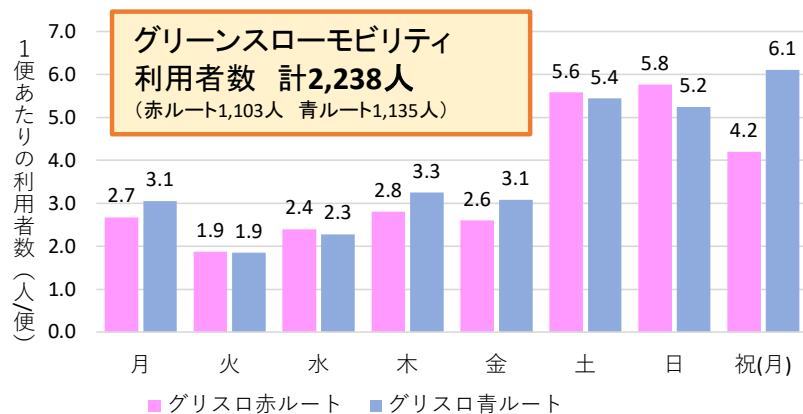
○グリスロは、成徳・明倫地区の住民の利用が約1割で、他地区の市民と観光客の利用が約9割を占めています。一方で、ループバスは、地区住民の利用が約4割を占めています。

○ループバスは、50代から60代までの利用が多い傾向となっています。一方で、グリスロは、60代の利用を中心に30代の子育て世代から70代の高齢者まで、幅広い年代で一定程度の利用がある傾向となっています。

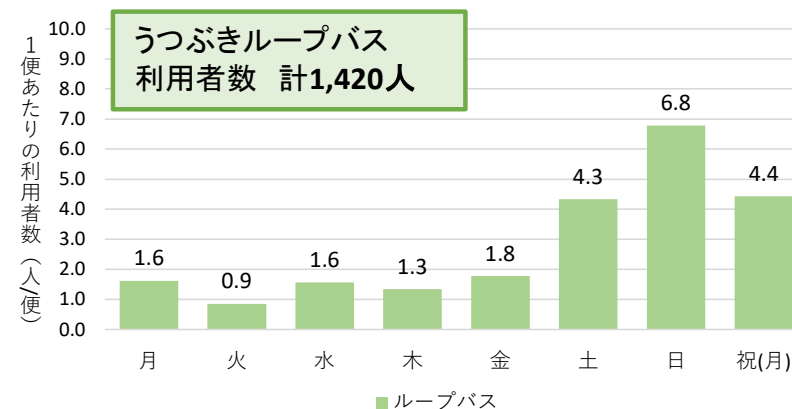


### < 1期 > 曜日別の1便あたりの利用者数

○曜日別の利用者数では、土日祝日の利用者は平日の2倍以上となっています。グリスロは土日祝はほぼ満車、ループバスは平日に比べて多いものの、最も多い時で7名程度です。



▲グリスロ曜日別 1便あたりの利用者数

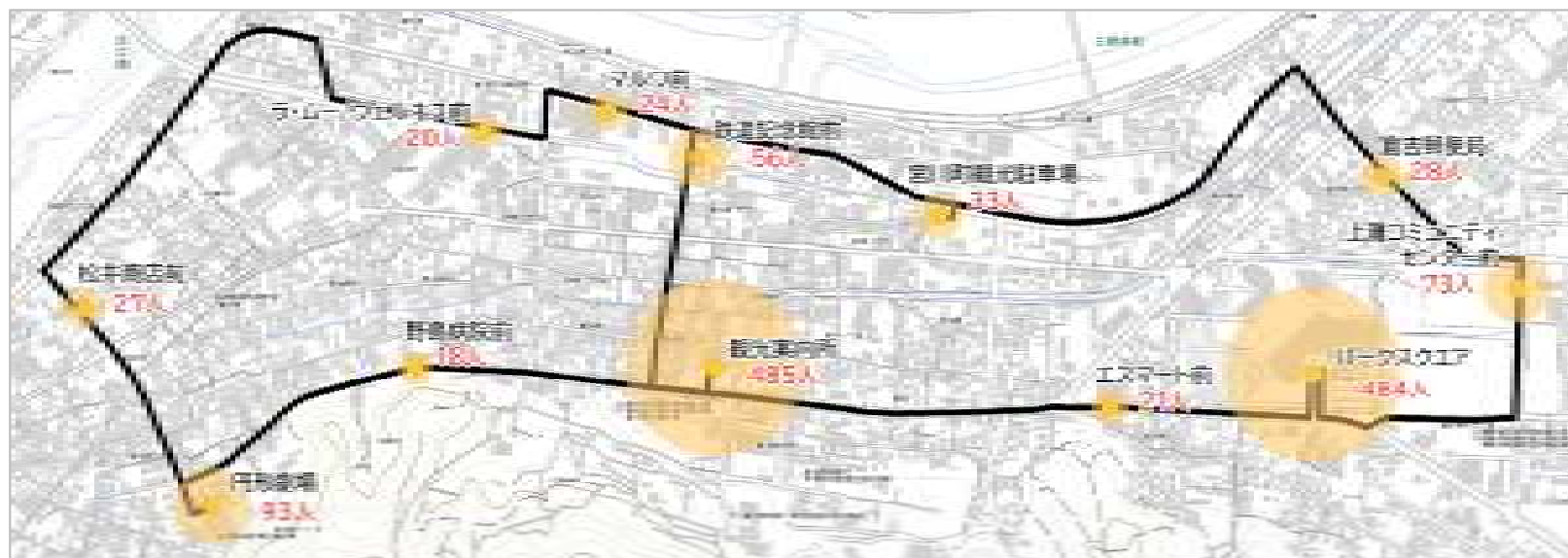


▲ループバス曜日別 1便あたりの利用者数

## <1期>ループバスの乗降状況

○ループバスは、主要な観光拠点である琴櫻・赤瓦バス回転広場（停留所名：観光案内所）、倉吉パークスクエアでの乗降が特に多い状況です。また、円形劇場くらしフィギュアミュージアムや宮川町観光駐車場などに設置した停留所においても一定程度の利用が見受けられます。

▶  
ループバス  
乗車場所



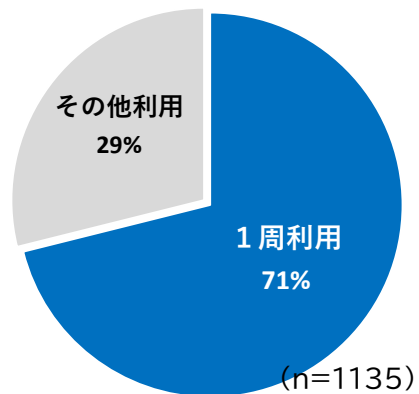
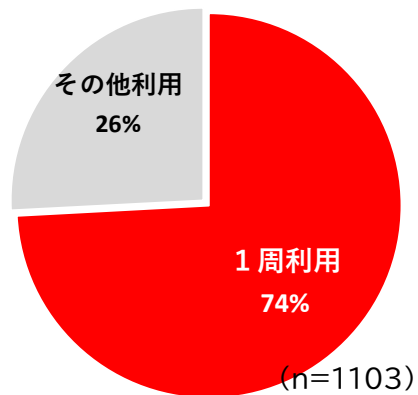
▶  
ループバス  
降車場所



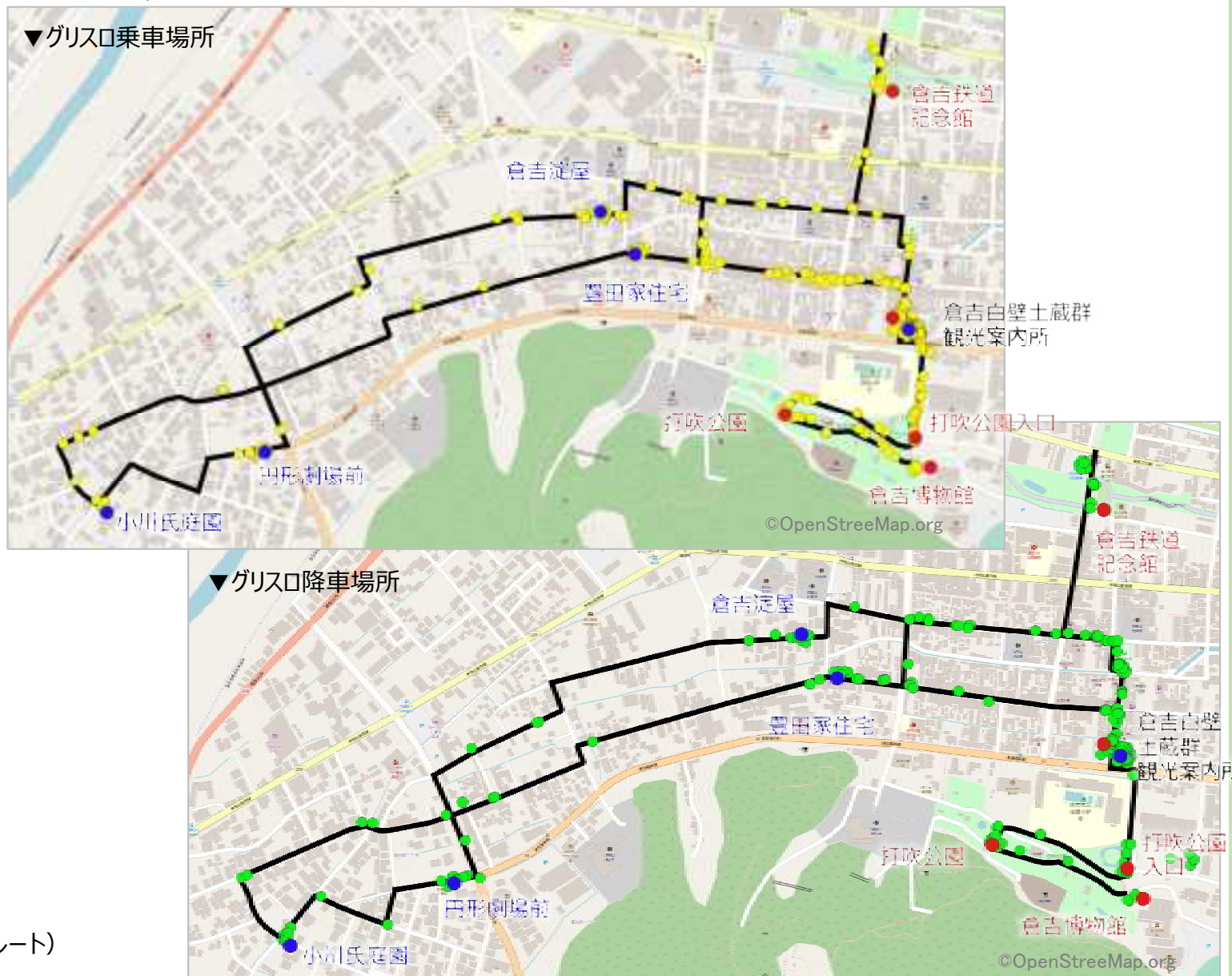


## <1期>グリスロの乗降状況

○赤ルート・青ルートともにグリスロ利用者の約7割が琴櫻・赤瓦バス回転広場（主要乗降ポイント名：観光案内所）から同広場までの1周利用をしていますが、約3割の利用者はルートの途中で乗降していることから、エリア内の周遊滞在に繋がる可能性があることが伺えます。

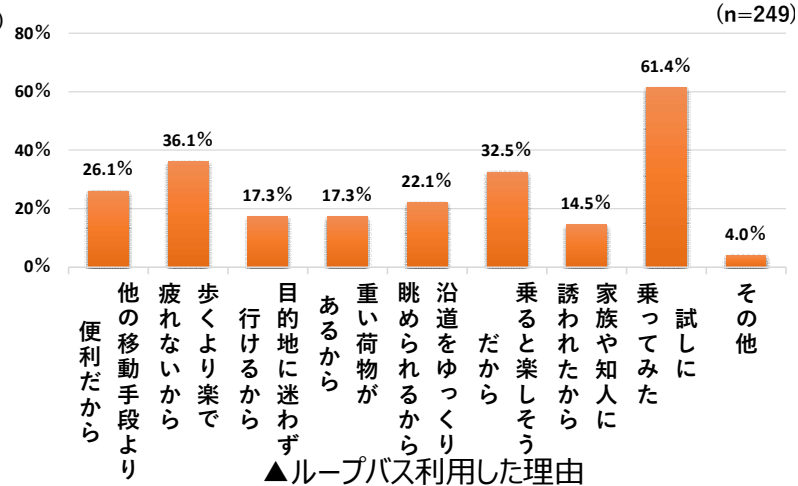
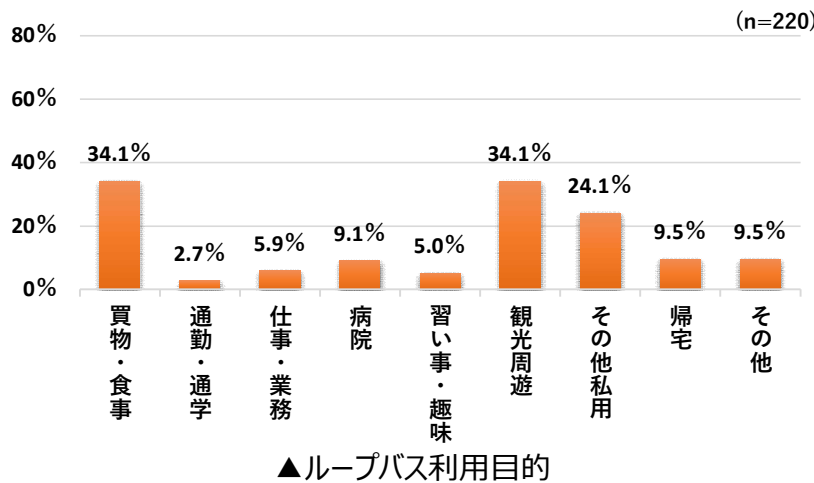


▲ 1周利用の割合  
(上：グリスロ赤ルート 下：グリスロ青ルート)



## <1期> うつぶきループバス 利用目的と利用した理由

○ループバスの利用目的は、「観光周遊」と「買物・食事」が約3割となっています。また、利用理由は「試しに乗ってみた」が約6割を占めるなど、地域住民の方が実証実験の期間中にお試し利用を多くされたことが伺えます。また、「歩くより楽で疲れないから」、「乗ると楽しそうだから」も約3割と次いで多く、観光客にとっても疲れずに楽しみながら移動できるモビリティとして活用されたことが伺えます。

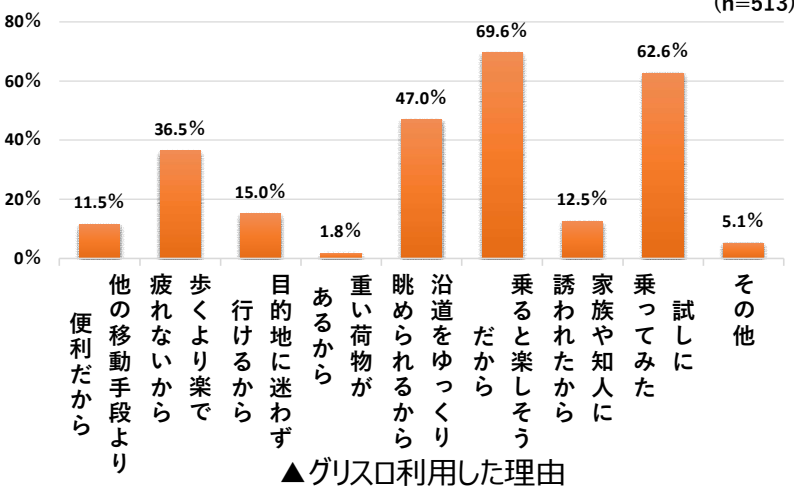
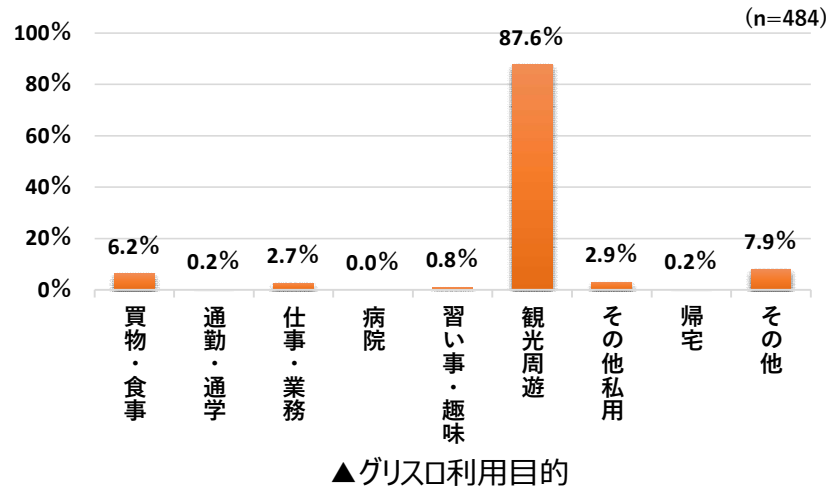


### 【主な自由意見】

- ・歳を取り運転できなくなった時ループバスとグリスロがあったら助かる。
- ・雨の日とか自転車に乗れないとき助かる。
- ・車内の音声案内があるととっても良い乗り物になる。
- ・観光地から離れた駐車場からでも楽に移動ができる。

## <1期> グリスロモビリティ 利用目的と利用した理由

○グリスロの利用者の9割近くが「観光周遊」を目的としています。また、利用した理由としては、「乗ると楽しそうだから」が約7割と最も多く、次いで「試しに乗ってみた」、「沿道をゆっくり眺められるから」と回答しており、グリスロに乗ることで、ゆっくりと景色を楽しみながらの観光周遊に繋がっていることが伺えます。



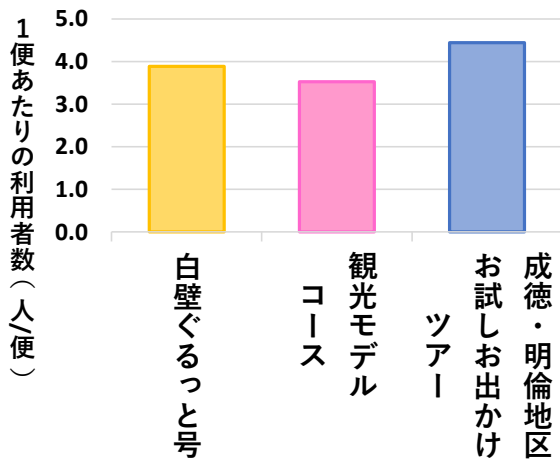
### 【主な自由意見】

- ・足の悪い高齢の母と乗せてもらい、歩くよりも効率的で楽に観光でき、更に、打吹公園の狭い道を登っていくうちに期待以上に楽しむことができた。
- ・車両の位置と空き状況が見れるのは便利な機能。
- ・子供がとても楽しめた。
- ・ピンポイントでいいので運転手さんが観光案内できるととっても良い。

## 3 第2期の結果概要

### <2期> 1便あたりの利用者数

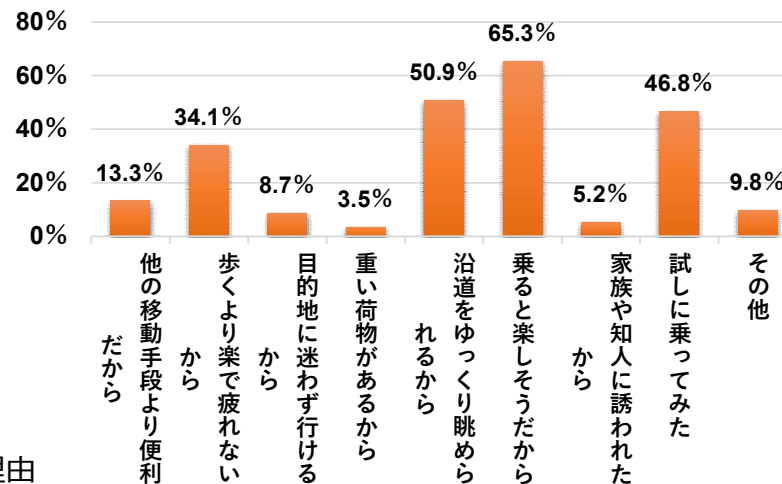
○第2期は計632名（白壁ぐるっと号525人、観光モデルコース67人、成徳・明倫地区お試しお出かけツアー40人）が利用し、1便あたりの利用者数は3.5～4.4名/便です。



▶ 1便あたりの利用者数

### <2期> 白壁ぐるっと号利用状況

○利用理由としては「乗ると楽しそうだから」と「沿道をゆっくり眺められるから」が多いです。



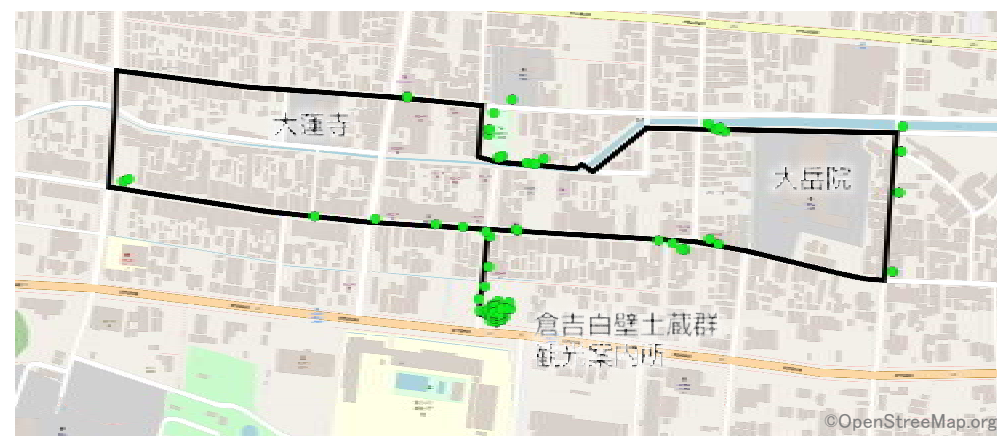
▶ 利用理由

### <2期> 白壁ぐるっと号の利用状況

○白壁ぐるっと号（定時定路線の土日祝に運行）も1期のグリス口同様に観光案内所～観光案内所までの1周利用が約8割を占めています。



▲ 白壁ぐるっと号乗車場所



▲ 白壁ぐるっと号降車場所

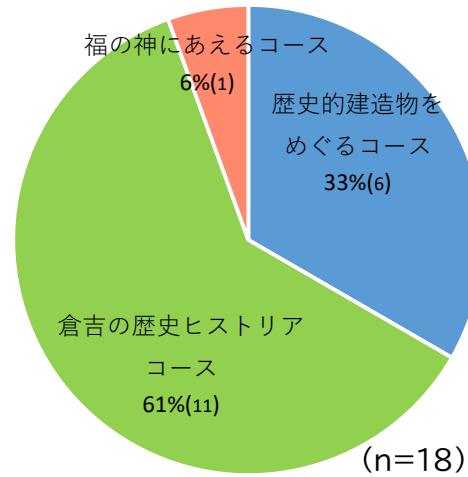
◀ 1周利用の割合

(n=524)

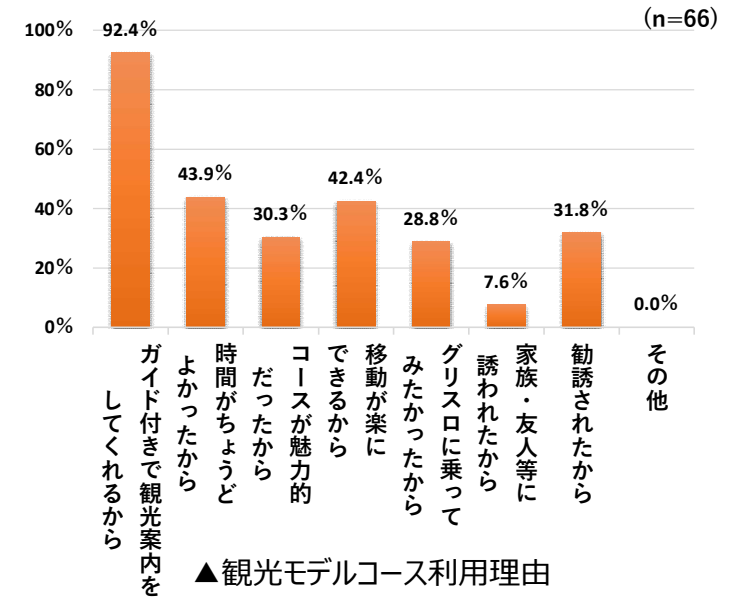


## <2期> 観光モデルコースの利用状況

○観光モデルコースは、「倉吉の歴史ヒストリアコース」が約6割と最も多く、次いで「歴史的建造物を巡るコース」が多い状況です。  
○利用理由としては、「ガイド付きで観光案内をしてくれるから」が最も多くなっています。



▲コース別利用割合



▲観光モデルコース利用理由

## <2期> 成徳・明倫地区お試しお出かけツアーの利用状況

○地域向けの運行は、成徳地区、明倫地区ともに高齢の方を中心に利用がありました。また、利用者の意見としても「会話が楽しめて良かった」、「普段行かないところを眺められて良かった」などの好意的な意見が多い状況です。

### ▼成徳・明倫地区お試しお出かけツアー利用者数 (人)

	総利用者数
成徳地区住民	17
明倫地区住民	12
認知症の人の家族を考える会	11



▶利用の様子

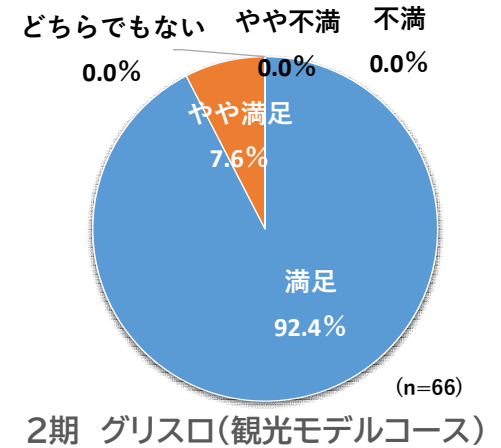
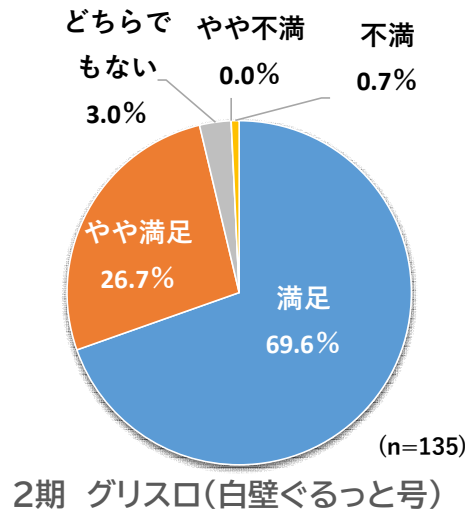
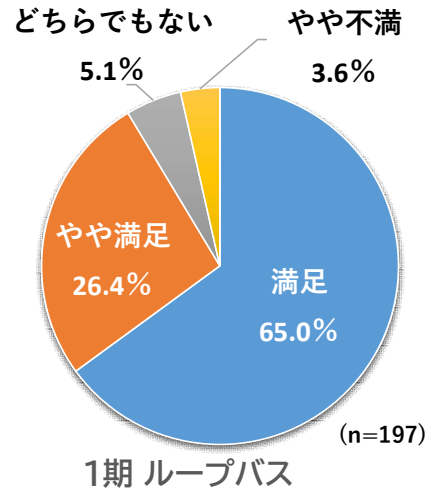
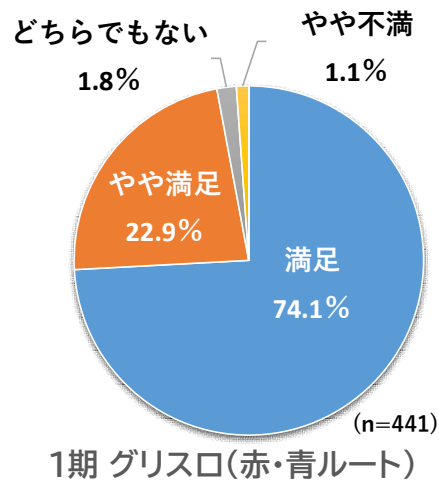
### 【利用者の主な感想】

- ・ 普段行かないところをゆっくりと眺めながら通ることができてよかった。
- ・ 普段はあまり行かないが買い物ができて、荷物も積んでもらえて、とてもよかった。
- ・ 新しい発見があって面白かった。

## 4 第1期及び第2期の利用者の感想

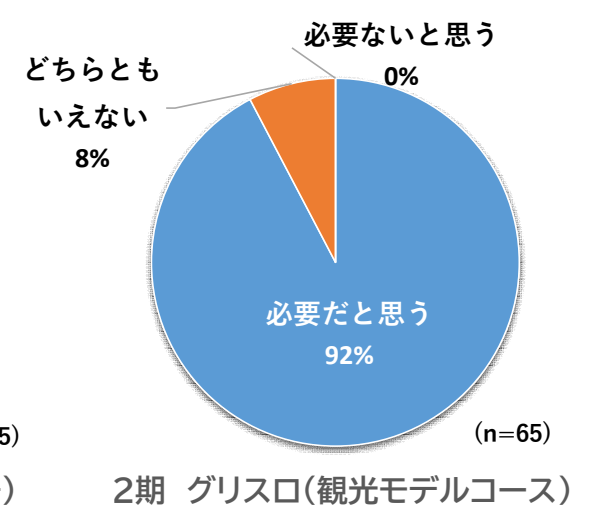
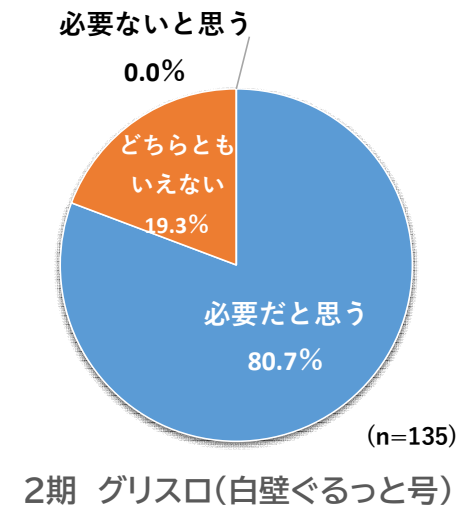
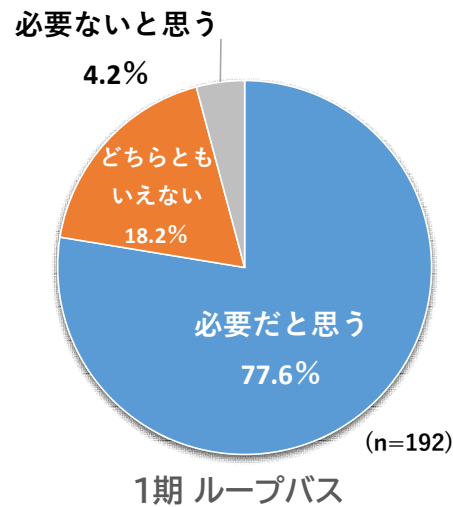
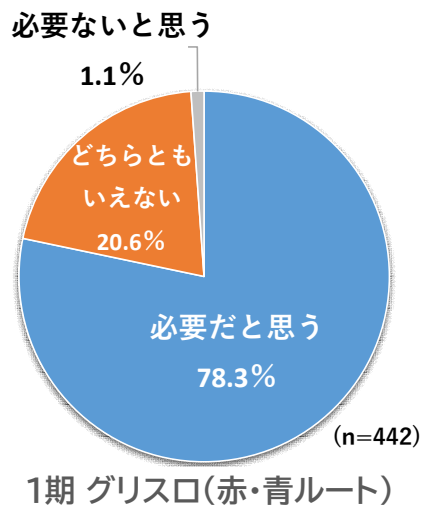
### 利用者の満足度

○第1期、第2期ともに「満足・やや満足」と答えた利用者は全体の約9割と非常に高い傾向になっており、特に観光モデルコースは利用者の全員が「満足・やや満足」と評価しています。「やや不満・不満」と回答された方は、停留所の増設や時刻表の改善、走行ルートへの拡大等を求める意見が見受けられました。



### 地域にとっての必要性

○利用者の約8割が地域にとって「必要だと思う」と回答しており、特に、観光モデルコースを必要と答えた利用者は9割を超えています。また「必要ないと思う」と回答された方は、「車内の観光案内が不十分である」、「歩いた方がゆっくり楽しめる」といった意見が見受けられました。

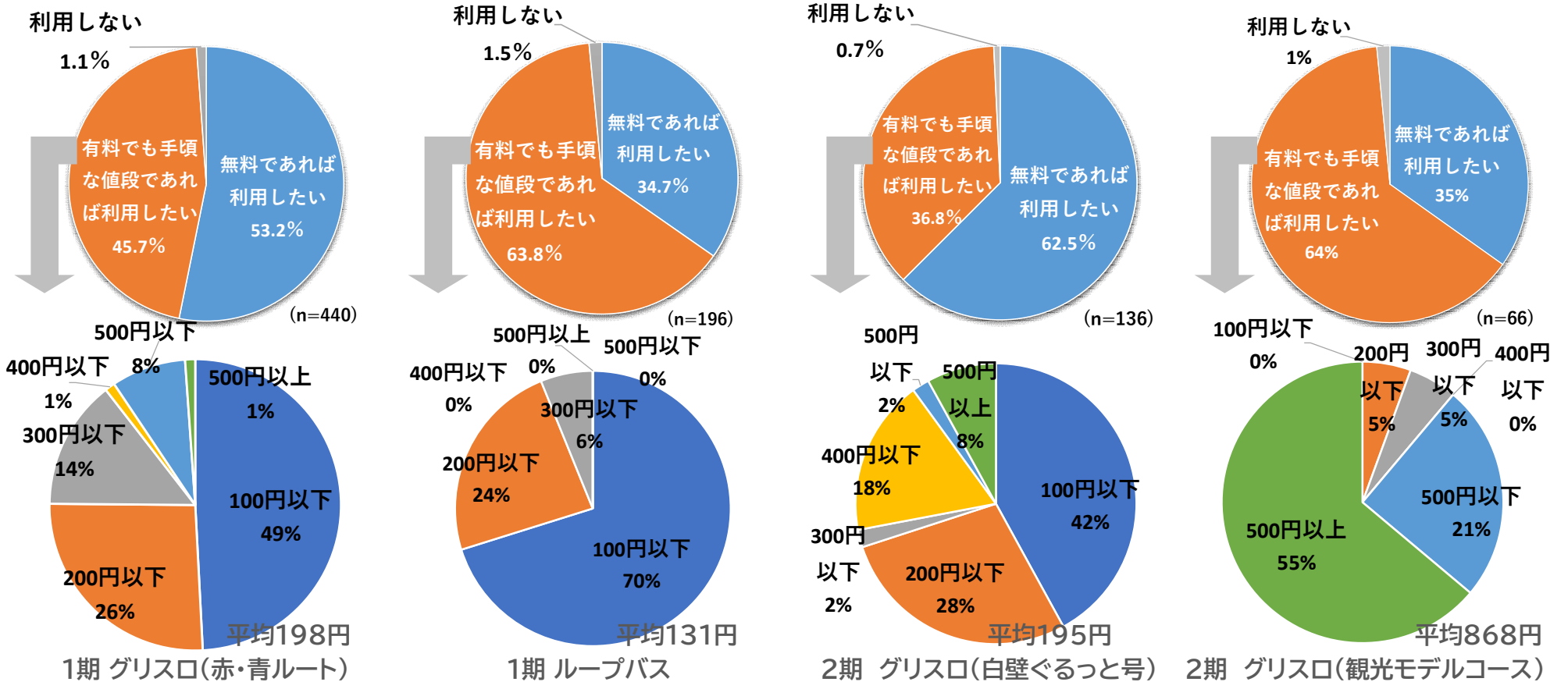




## 利用意思と希望料金

○利用意思は、第1期、第2期ともに「有料でも手頃な値段であれば利用したい」が4割を超えています。また、「利用しない」と回答した人は、いずれも1%程度と少ない状況です。

○希望料金は、定時定路線のグリスロは第1期、第2期ともに平均で200円程度です。また、第2期の観光モデルコースは平均で900円程度となっています。ループバスは、利用者の7割が100円を希望しています。



## 5 関係者へのヒアリング調査結果

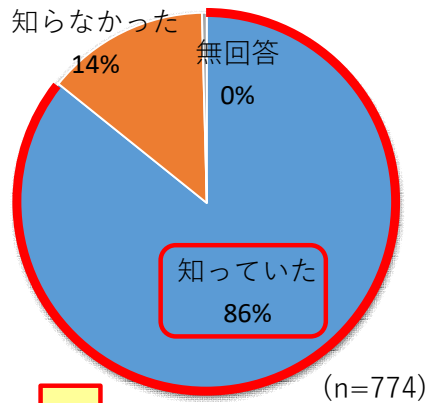
ヒアリング意見について、抜粋したものを以下のとおり整理します。

- ・グリスロは、幹線道路の走行などで危険を感じることはなかった。ループバスは、車両サイズを乗車人員の規模に合わせた方が良い。
- ・グリスロは1周利用が多く、途中下車による経済活動までは波及しなかった感があるので、地域の商店と連携するなどの工夫が必要と感じる。
- ・ループバスも本格的に運行する場合は停留所の場所の選定など十分な検討・調整は必要だが、定着すれば一定の利用効果はあると思う。
- ・グリスロの車内では利用者同士で自然と会話が弾み、また、車内の観光客と沿道の住民が気軽に挨拶を交わすなど交流や出会い、賑わいの創出に繋がった。 など

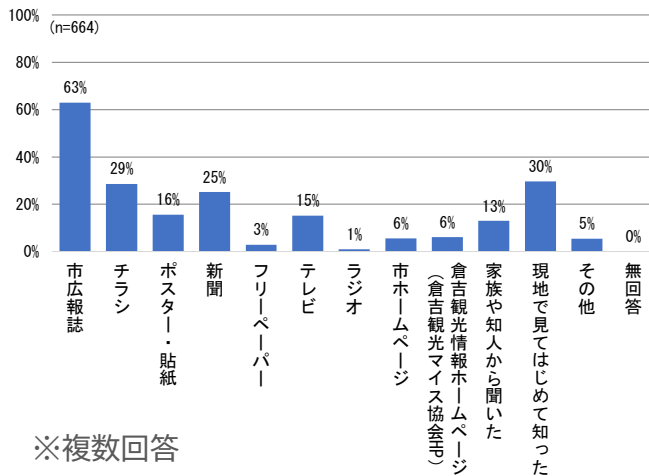
## 6 地区住民等の利用状況等（成徳地区・明倫地区の住民等を対象としたアンケート調査結果）

### 認知状況

○『打吹つながるモビリティ（ウーモ）実証実験』について、回答者の86%が「知っていた」と回答しており、多くの人に認知されていたと考えられますが、一方で「知らなかった」回答者も14%存在しています。  
○認知方法では、「市広報誌」を挙げる人が多く、63%を占めています。次いで、「現地で見てはじめて知った」が30%と多くなっています。



▲ 認知状況



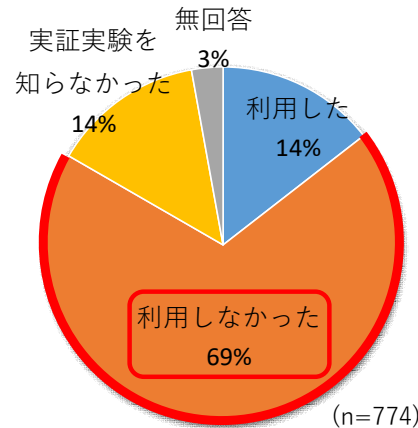
※複数回答

▲ 認知方法（「知っていた人」の回答）

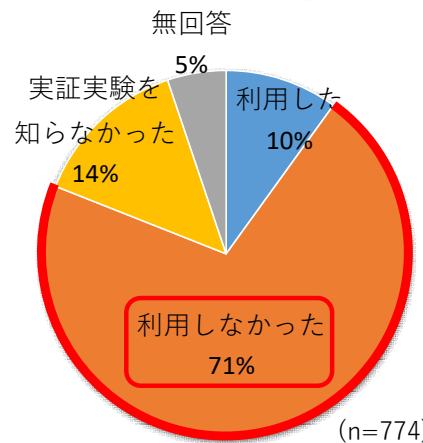
### 利用状況

○実証実験中、グリーンスローモビリティ及びループバス「利用した」人がいる世帯は、それぞれ1割程度であり、約7割の世帯では「利用しなかった」と回答しています。  
○「利用しなかった」理由としては、ループバスでは過半数の人が「乗る必要がなかったから」を挙げており、マイカーを利用するためと想定されます。その他、グリーンスローモビリティ、ループバスともに、「利用方法がよくわからなかった」、「運行内容がよくわからなかった」を挙げるが多く、より一層の周知の充実が必要と考えられます。

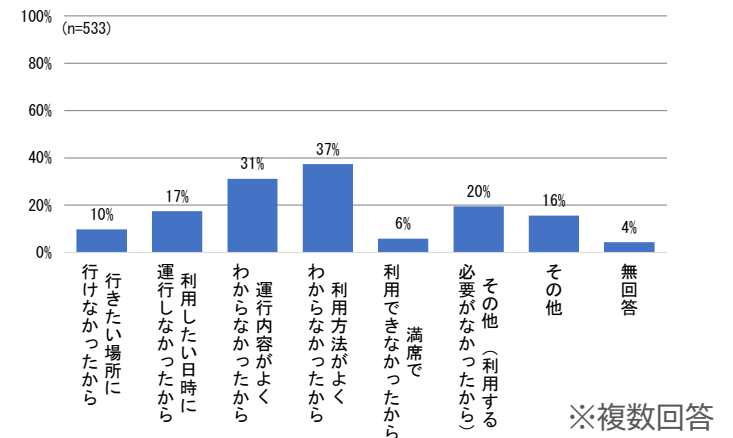
#### 【グリーンスローモビリティ】



#### 【ループバス】



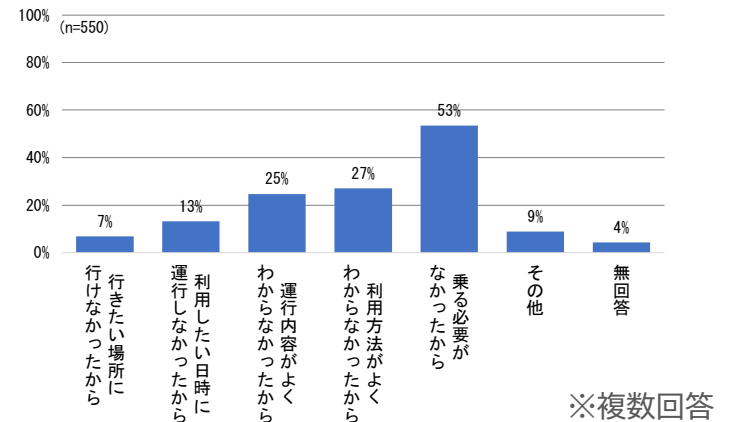
▲ 利用状況



※複数回答

#### 【「その他」の主な内容】

・利用する機会がなかったから(22件) ・観光用と思っていたから(11件)



※複数回答

#### 【「その他」の主な内容】

・ループバスは知らなかったから(10件) ・乗降場所が近くなかったから(7件)

▲ 利用しなかった理由（「利用しなかった」人の回答）